

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客との話の中で、ハブ期のように景気が良いという声をよく聞く。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・愛知万博に支えられ、引き続き特に東京、大阪など遠方からの来客数が増加し、宿泊、宴会、レストランのすべてにわたって好調である。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・愛知万博効果で名古屋のホテル業界は宿泊が非常に好調である。レストランも売上増で推移している。
	やや良く なっている	一般小売店〔電気屋〕（経営者）	単価の動き	・本格的に地上波デジタル放送が始まって、買い換えにつながっている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・愛知万博や中部国際空港への観光客が多いため、当地区では近畿や東海からのバス旅行客は減っているが、関東や中四国からのバス旅行客の立ち寄りが増えている。 ・グループや家族客が10%以上増えているため、来客数は5%程度増加している。また客単価の低下に歯止めがかかり、売上も増加している。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	それ以外	・景気の良い客がたくさんいて、たくさん買ってくれる。また店が増えるなど、周辺では少し活性化してきている。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・愛知万博の入場者数の伸びに比例して来客数は増加しており、特に土産需要が好調である。また婦人服、雑貨も堅調で、紳士服はクールビズ関連商材が好調である。こうした要因により、売上は前年を大きく上回っている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・愛知万博の波及効果で売上は好調に推移している。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・昨年6月は台風があったが今年は少雨高温で、飲料、アイスクリームやめん類の動きが良い。また消費税導入後の商品の売価設定が一巡し、売上も落ち着いてきている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・愛知万博特需と空梅雨の影響で、ビールなどの飲料販売が伸びている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・空梅雨で気温が高いため、飲料水などを買い求める客が増加している。
		コンビニ（売場担当）	販売量の動き	・愛知万博の影響で来客数が増えている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・空梅雨で暑く、季節物の売上が好調である。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・来客数がやや増え、物の動きも良い。客の話では、収入などもそろそろ安定してきているようだ。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・前年同月は新型車が好調だったため今月の前年同月比の落ち込みを懸念していたが、前年台数を超える実績となっている。RV車、小型車の底堅さに加え、商用車の販売増も寄与している。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・中部国際空港、愛知万博の影響で、マンション、ビル、アミューズメント施設など建築関係の物件が増加している。また民間の設備投資で工場や会社関係のビルも増加している。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・愛知万博や商業施設のオープンなどの影響で集客が落ちていたが、最近は街中への客足が戻っている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・日祝日の来客数は減少しているが、平日客の回復と客単価の上昇で売上は確保している。休日の客は万博へ流れていると思われ、この要因を除けば景気は良い方向にある。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ここ1週間ほど急激に暑さが激しくなり、涼を求めて来客数が増えている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・当店は個人客が多いが、今月は10人ほどの団体客が数組あった。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・例年なら暑い時期に向けて販売量は減少するが、今年は逆の現象が起きている。		

	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・愛知万博、中部国際空港の影響により、来客数の動きが活発である。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・愛知万博の影響で宿泊数が増えている。
	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・中部国際空港の影響で良くなっている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・ボーナス月であるが、繁華街の出入は昨年同時期より多少良くなっている。
	通信会社（開発担当）	お客様の様子	・光通信の新サービスが開始されたが、順調に推移している。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・天候に恵まれ、来客数、売上は昨年実績及び今月目標を上回っている。単価も目標を上回っている。
	その他サービス 〔語学学校〕 （経営者）	販売量の動き	・11か国語の教室を用意しパラエティーを持たせており、徐々にではあるが成果を上げつつある。
	設計事務所（職員）	競争相手の様子	・大手ゼネコンの工事が増加し、東三河地区では新築マンションの入居者も増加している。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・入居仲介時期のピークは過ぎたが、以前ほど居室の入居仲介を求める来客数が減少していない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・個人住宅の販売量が増えている。
変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・この時期は例年比較的暇な時期であるが、今年は販売量も横ばいですますますである。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・空梅雨で暑い陽気が多いが、街の人通りは例年とそれほど差がない。暑さでビールやジュースなどの自動販売機の売上が多少あるが、一人当たりの単価が低く売上はいまひとつ伸び悩んでいる。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・愛知万博の影響で来客数は増加しているが、売上にはあまりつながっていない。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・愛知万博の関連グッズなどは相変わらず売れているが、従来のプロパー商品は買い控えの傾向がある。
	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・来客数は減っているが、部門によっては販売量が増えているところもあり、全体としては微妙なところである。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・父の日ギフトは、販売量は減少しているが単価は低下していない。ただし直前にならないと売上がない。
	スーパー（店長）	単価の動き	・依然として客単価の回復はみられず、96%前後の推移が続いている。
	コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・競合店が1店閉店したが、それ以上に新規出店や異業種との競合があり、厳しくなっている。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・昨年に比べて天候に恵まれているが、来客数は伸びておらず前年割れとなっている。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・今月は週末の天気が良く、週末の来客数は増えている。しかし平日は来客数が減り、単価も低下している。
	衣料品専門店（販売企画担当）	それ以外	・従来型の商売は低迷しているが、景気の良い業界に向けた試みがうまくいっている。
	家電量販店（経営者）	お客様の様子	・生活必需品は割安な価格帯が中心で、競争も非常に激しく、売上は依然低迷している。
	家電量販店（店員）	来客数の動き	・収益確保のため単価を少し上げているため、来客数は減少している。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・前年同月比で販売台数はほぼ横ばいだが、来客数は3分の2となっており、単価も10%低下している。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・営業マンによって売上にばらつきがある。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・前年はなんとかクリアしたが、来客数も少なく目標は達成していない。客はボーナスを実際に手にしてから動くという雰囲気がある。
	自動車備品販売店（経営者）	競争相手の様子	・自動車販売ディーラーがカーAVなどの内部装飾販売やオイル、バッテリー交換などのメンテナンス業務を強化しているため、売上、利益とも先細りしている。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・愛知万博により来客数は多い。ただし一過性のものである。
	旅行代理店（経営者）	単価の動き	・増税の話題もあり、収入の減少を心配する人もあり単価の低下が続いている。

	旅行代理店（従業員）	単価の動き	・宿泊旅行よりも愛知万博などの日帰り旅行が増えており、単価は低下気味である。今月を含めた第1四半期の取扱販売量は昨年と比べて増えているが、取扱金額は横ばいになっている。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・愛知万博の影響が、宿泊旅行者が少ない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・月前半はあまり良くなかったが、月後半は夜の街の人の動きがよくなり、平均すると3、4月と変わらない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・まだまだタクシー利用控えがあり、駅までマイカーで送り迎えする人が多い。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・キャンペーン端境期であり新規契約数はやや落ちているものの、例年ほどの落ち込みはみられない。次のキャンペーンに向けて問い合わせも堅調である。
	通信会社（営業担当）	単価の動き	・新サービスを展開し始めているが、収益的にみると今後は減益が続く。
	通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・電話回線の追加オプション機能を節約のため取り消す注文が多い。新規追加する注文は取り消し注文の半分以下である。
	テーマパーク（総務担当）	来客数の動き	・今月も先月に引き続き、来場者数は前年を下回る見込みである。
	ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・ゴルフ場への来場者数は、全国的にみても前年比で大きく減少している。このような環境の中で、ゴルフ会員権の流通も停滞している。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。
	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・お手入れに来る客に変わりはないが、化粧品を購入する客が少なくなっている。特に若い人はコンビニで安い物を買って済ませている。
	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・土地が売れない。どうしても売らなければならないと値下げして売するため、悪循環となって様子である。
	住宅販売会社（企画担当）	来客数の動き	・毎月決まった量のチラシを入れているが、客の反響や来客数は3か月前と変わりが無い。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・中部国際空港、愛知万博のオープンに合わせてイベント開催や商業施設の開業が相次ぎ、相乗効果で来客数が増えてきたが、今月はこの流れも落ち着いている。来客数は減少し、単価も低下している。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数、販売量、売上、客の様子のどれをみてもプラスの材料がみあたらない。
	商店街（代表者）	競争相手の様子	・当店の仕入れ価格よりも競争相手の仕入れ価格の方が格段に安いので、販売に結び付かない。
	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・外販ではある程度のお付き合いをしてくれるが、展示会に招待すると来客数はあるが買上に結び付かず、売上は予定を割り込んでいる。
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・先月下旬に大型店が改装開店した影響があり、売上は2けた以上減少している。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・購買単価、来客数、購買意欲ともに悪化傾向である。
	スーパー（店員）	来客数の動き	・週末などチラシ広告を入れた時の来客数はそこそこあるが、特に月曜以外の平日客が少ない。
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・特売商品の中でも特に安い商品だけが売れて、定番商品の売行きは悪い。
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・アルコール飲料は数量的には横ばいだが、安い発泡酒やその他の雑酒に移行しているため、売上は25%減少している。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・ショールームを改装中という特殊要因もあり、来客数は減っている。当店でなくともどこでも買えるという現実がある。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・ボーナスが出始めている時期であるが、今月は出控える人が多く来客数は少ない。
	理美容室（経営者）	来客数の動き	・暑くなり忙しい時期であるはずが、来客数は少ない。
	美容室（経営者）	競争相手の様子	・どんどん美容院が増えており、当店の前にも美容院ができた。競合店が増えている。
	設計事務所（営業担当）	それ以外	・また同業者が倒産しており、当社もボーナスは0.5か月分しか出ていない。給料も減っている。

	悪くなっている	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・愛知万博に客を取られ、来客数は減っている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・雨が少なく暑い日が続いている割に蒸し暑さがないためか、ソフトドリンク、アルコールドリンクとも売上の減少が激しく、全体の足を引っ張っている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・客の様子、客単価、来客数など、様々な面で悪化している。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・暑い日が続き、高齢客が多いため来客数は減少している。
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている			
		紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・空梅雨による暑さのため、アイスクリームなど食品関連の取引先が活発化している。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新製品が良好で、受注増に結び付いている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・受注量、取引先の様子がこの1か月で好転している。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・愛知万博の影響で、地元の経済は活性化しているようである。
		広告代理店（経理担当者）	受注量や販売量の動き	・種類でばらつきはあるものの、全体として受注量は増加している。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・一部石油化学関連企業で求人が増えており、人材派遣会社のための新規アパート建築の仕事が増えている。
		行政書士 会計事務所（社会保険労務士）	受注量や販売量 取引先の様子	・顧問先企業では出荷量が増加している。 ・顧問先企業では売上の増加がみられる。
	変わらない	印刷業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量とも前期より減っている。売上も減少している。
		一般機械器具製造業（販売担当）	受注量や販売量の動き	・今年に入ってから、自動車業界の活発な設備投資のお陰で、50年に一度の好景気である。原油価格の値上がりにより輸送費や原材料費は値上がりしているが、好景気は依然として続いている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・相変わらず原油価格が高騰しており、取引先は既設の発電装置を停止して商業電力に切り替えたり、常用から非常用に切り替えたりしており、思ったように受注が伸びない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず自動車関連は好調であるが業界によってばらつきがあり、全体としての受注量はほぼ横ばいである。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べて大型システムの受注により売上増となったが、これを除くと悪化となる。ただし、機種によっては好調な動きもみられ、新機種投入の効果もある。
		輸送用機械器具製造業（統括）	取引先の様子	・主要取引先が現在経営再建中のため、価格、数量ともに非常に厳しい状況が続いている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物流、製造業関係の引き合い件数は堅調な動きを示しているが、最終的な実施には至っていない。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の動きは前年通りである。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・毎月月末月初にかけて運ぶ荷物は増えるが、今月は全く増えない。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・トラックへの積み込み台数、売上などは5～6%増えている。しかし燃料高騰分を運賃に転嫁が出来ないでいる。
		金融業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・住宅ローンの伸びは堅調である。金利競争は激しいが、住宅ローンの需要はあり、不動産は相応に活発に動いている。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・受注量は少し増えてきているが、その分数量を減らしたり質を落とすなど、予算面ではシビアなところが多くみられる。
		公認会計士	取引先の様子	・原油価格などの上昇や人手不足などにより、中小企業の利益は圧迫されている。

	会計事務所（職員）	取引先の様子	・愛知万博が順調であり、経済波及効果は関連業界に及んでいる。しかし、建設、製造、医療関連ではこれといったプロジェクトもなく、目立った動きはみられない。	
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・取引先のIT関連企業では、仕事が増加しているのに人手が足りない状態である。特に顧客対応のオペレータやプロジェクト管理などの上級技術者が不足している。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・全般的に横ばいが続いている。引き合いはコンスタントに出ているが、どんどん投資するという傾向はみられない。一方で海外向けは新しい設備投資を積極的に取り入れている。	
やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・取引先では、受注量、販売量とも2～3%減少している。	
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大手企業の値下げ発表により、価格は2か月連続で大幅に低下している。	
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・例年6月は1年の中でも比較的荷物量が低調であるが、今年は例年以上に低調である。小口市場では官民で運賃値下げ合戦が展開されており、先行きが見えない状況である。	
悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・今期の売上は3か月前と比較して16.5%増加しているにもかかわらず、経常利益は26.4%減少している。商品仕入高の上昇により、増収減益となっている。	
	金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料の高騰分を販売価格に転嫁できない状況が続いている。販売量も減少傾向にあり、競争は一段と激しくなっている。	
	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・プロジェクトの谷間ではあるが、工場の稼働率は低く、仕事量の不足が大きい。	
雇用関連	学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・金属製品、一般機械、電気機械、輸送用機械や情報サービス業などの売上が順調に伸びており、求人がある。	
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・自動車関連の派遣需要は引き続き順調に伸びており、依然として人材不足である。スタッフの確保が課題になっている。
		人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・求人募集数が増加傾向にある。職種にもよるが、企業の採用活動は積極的である。名古屋地区に関しては、正社員募集も今まで以上に目に付く。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・パート、派遣、請負等の有期雇用契約を中心に求人数が増加しており、雇用保険被保険者（就業者）数は前年度比で着実に増加している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・派遣スタッフの求人広告を掲載してもなかなか応募者が集まらず苦労している。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	雇用形態の様子	・製造業の正社員募集が増加している反面、小売等の流通や外食産業ではパート、アルバイト化が顕著である。雇用形態の二極分化が鮮明になっている。 ・自動車、機械などの輸出関連製造業では事業が好調に推移しており、慢性的な労働力不足に陥っている。常用の労働力を確保するため、正社員雇用が増加している。外食などのサービス業では競争が厳しく、固定費削減のため軽雇用中心である。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・自己都合による離職者が増加する傾向がみられる。最近の好調な雇用情勢を受け、より良い条件の職場への転職希望者が増えている。
		職業安定所（職員）	それ以外	・一般労働者派遣事業の許可や特定派遣事業の届出の件数が若干増加傾向にある。ただし、届出や許可を得た企業の派遣事業実績はまだ現れていない。
職業安定所（管理部門担当）		求人数の動き	・有効求人倍率は依然として低く、新規求人数も少ない。しかし学卒求人の出足は昨年と比較するとやや好調である。	
民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人数の動きは年度末から高位で安定しており、目立った変化は現状ではあまりみられない。		
民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・ここ3か月間は同じような推移で求人が来ている。		

やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新年度が始まったが、求人は正社員の紹介予定派遣などの導入に積極的な企業が多い。ただし、ボーナス退職の補充のための求人は今年度はさほどでもなく、全体として市場は活発ではない。
	求人情報誌製作会社（編集長）	求人数の動き	・新卒系の採用は好調であるが、中途、転職系にはかげりがみえている。アルバイト、パート系は愛知万博関連の採用が一段落している。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・自動車製造関連の期間工や業務請負、建設関係は好調であるが、その他の一般求人は3か月前に比べて減少傾向にある。
	職業安定所（職員）	それ以外	・有効求人倍率は4か月連続の低下となり、平成16年6月以来1.1倍台を下回っている。また、新規求職者は6か月ぶりに前年同月比を上回っている。
悪くなっている	-	-	-